

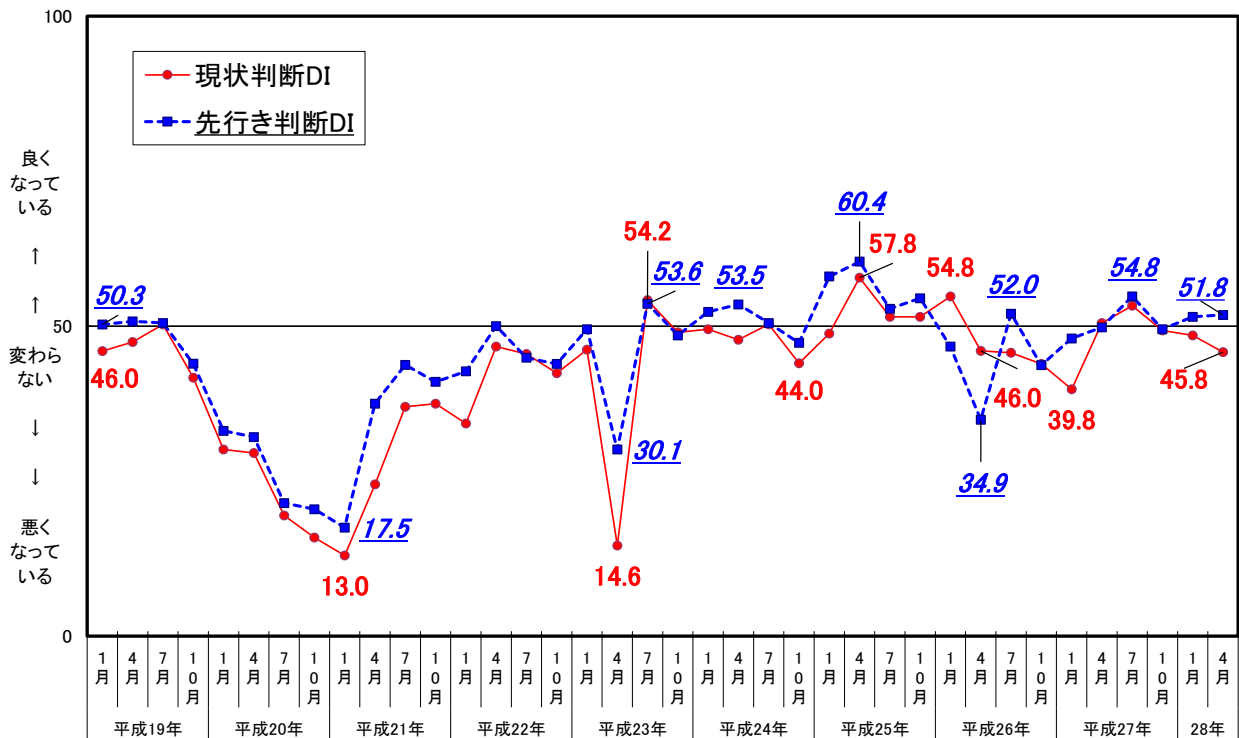
青森県景気ウォッチャー調査 (平成28年4月期)

調査期間 平成28年4月1日～4月13日 回答率100%

概 況

4月期の景気の現状判断DIは45.8と、3期連続で横ばいを示す50を下回った。
先行き判断DIは51.8と、2期連続で横ばいを示す50を上回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成28年4月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地 区	対 象 地 域	調 査 客 体 数			
		合計	家計	企業	雇用
東 青 津 軽 県 南 下 北	青森市とその周辺部	30	23	4	3
	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小 売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲 食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住 宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
 - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断
参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
T E L 017-734-9166 (直通) F A X 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が1.0ポイント増加、「やや良くなっている」が12.0ポイント減少、「変わらない」が9.0ポイント増加、「やや悪くなっている」が3.0ポイント増加、「悪くなっている」が1.0ポイント減少したことにより、全体では2.7ポイント減少の45.8となり、景気の横ばいを示す50を3期連続で下回った。

判断理由では、デパート、ショッピングセンター等での人の動きの良さなどプラス面をあげる声があった一方で、暖冬による冬季商品の販売不振、食料品購入の点数減少や単価下落、旅行者数の減少、飲食店での来客数の減少といったマイナス面をあげる声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で2.7ポイント減少、企業関連で1.4ポイント減少、雇用関連で7.2ポイント減少した。特に、家計関連の住宅で大きく減少した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、津軽地区でポイントが増加し、下北地区で横ばい、東青、県南地区で減少した。津軽地区では、4期連続で景気の横ばいを示す50を上回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が1.0ポイント減少、「やや良くなる」が1.0ポイント減少、「変わらない」が5.0ポイント増加、「やや悪くなる」が2.0ポイント減少、「悪くなる」が1.0ポイント減少したことにより、全体では0.3ポイント増加の51.8となり、景気の横ばいを示す50を2期連続で上回った。

判断理由では、飲食店への来客数の減少、消費税増税や海外情勢の不透明感などによる先行き不安、企業や農家などの後継者問題、人材確保難を懸念する声があった一方で、北海道新幹線開業による観光客の増加、六魂祭や青森県・函館DCなどのイベント等による経済効果に期待するという声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で0.3ポイント増加、企業関連で2.8ポイント増加、雇用関連で7.1ポイント減少した。特に、家計関連の住宅で大きく減少した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、津軽、下北地区でポイントが増加し、東青、県南地区で減少した。県南地区以外の全地区で景気の横ばいを示す50を上回った。

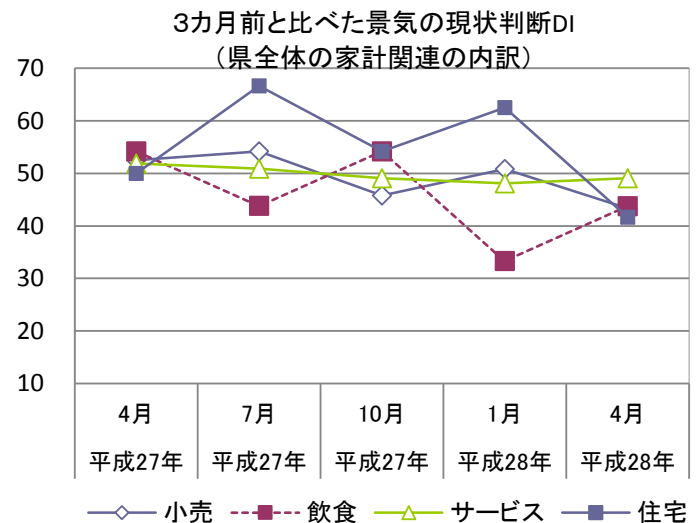
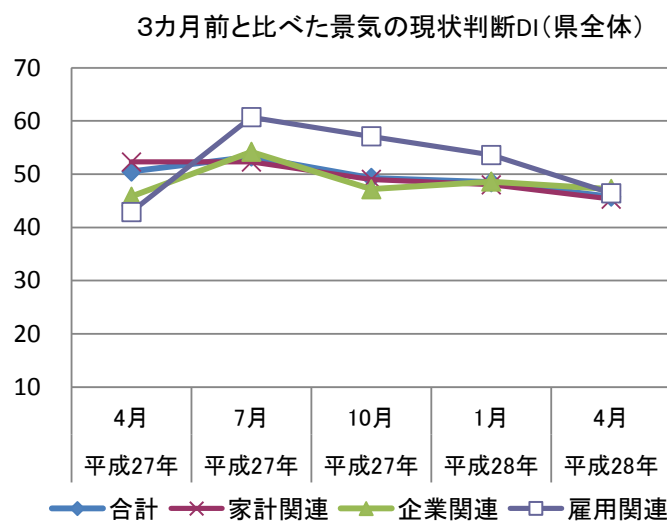
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

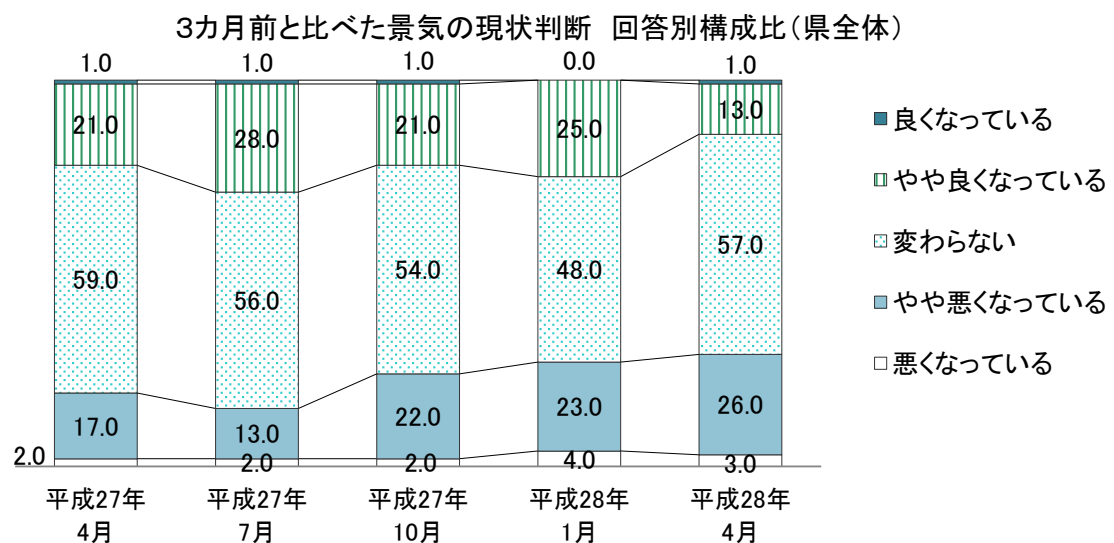
n = 100

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	50.5	53.3	49.3	48.5	45.8	▲ 2.7
家計関連	52.3	52.3	49.0	48.0	45.3	▲ 2.7
小売	52.5	54.2	45.8	50.8	43.3	▲ 7.5
飲食	54.2	43.8	54.2	33.3	43.8	10.5
サービス	51.9	50.9	49.1	48.1	49.1	1.0
住宅	50.0	66.7	54.2	62.5	41.7	▲ 20.8
企業関連	45.8	54.2	47.2	48.6	47.2	▲ 1.4
雇用関連	42.9	60.7	57.1	53.6	46.4	▲ 7.2



②回答別構成比 (%)

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良くなっている	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
やや良くなっている	21.0	28.0	21.0	25.0	13.0	▲ 12.0
変わらない	59.0	56.0	54.0	48.0	57.0	9.0
やや悪くなっている	17.0	13.0	22.0	23.0	26.0	3.0
悪くなっている	2.0	2.0	2.0	4.0	3.0	▲ 1.0

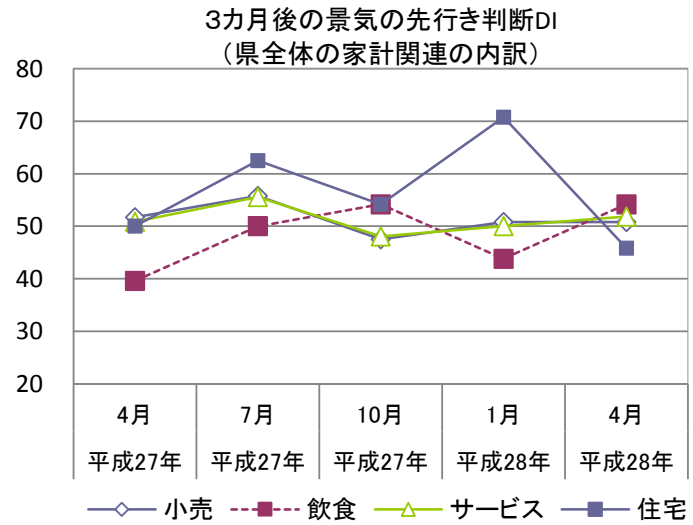
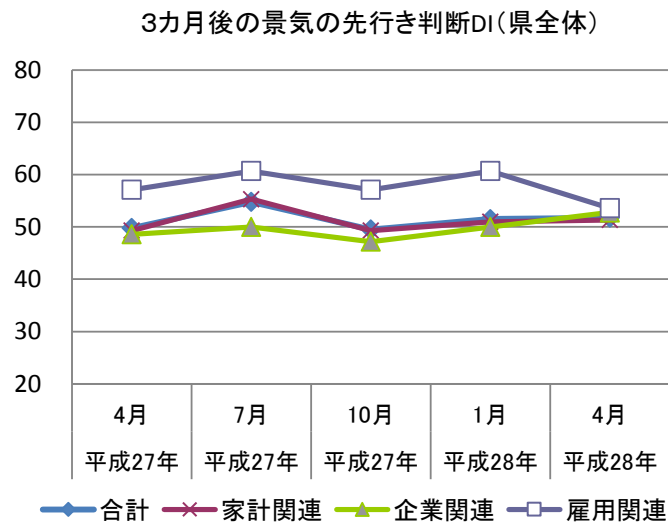


(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

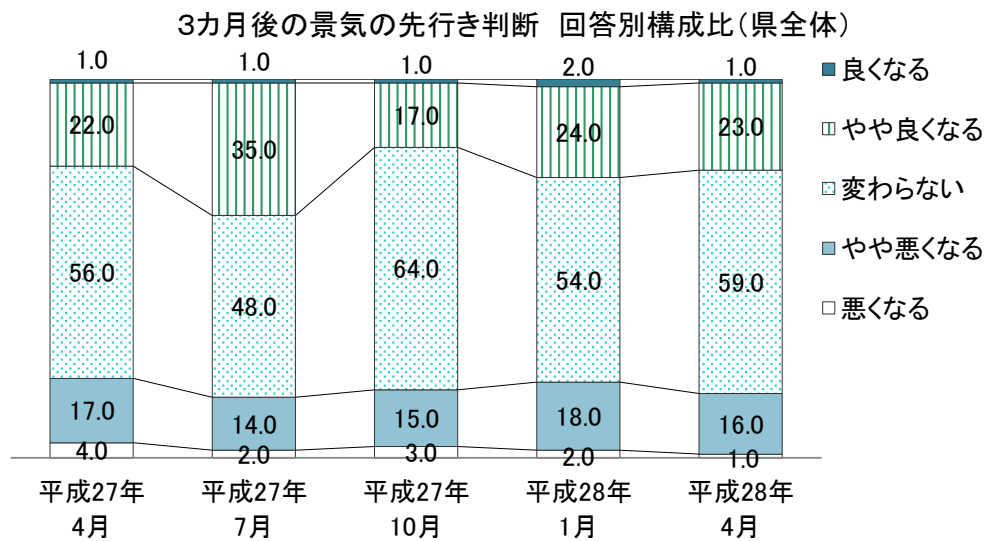
n = 100

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	49.8	54.8	49.5	51.5	51.8	0.3
家計関連	49.3	55.3	49.3	51.0	51.3	0.3
小売	51.7	55.8	47.5	50.8	50.8	0.0
飲食	39.6	50.0	54.2	43.8	54.2	10.4
サービス	50.9	55.6	48.1	50.0	51.9	1.9
住宅	50.0	62.5	54.2	70.8	45.8	▲ 25.0
企業関連	48.6	50.0	47.2	50.0	52.8	2.8
雇用関連	57.1	60.7	57.1	60.7	53.6	▲ 7.1



②回答別構成比 (%)

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良くなる	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	▲ 1.0
やや良くなる	22.0	35.0	17.0	24.0	23.0	▲ 1.0
変わらない	56.0	48.0	64.0	54.0	59.0	5.0
やや悪くなる	17.0	14.0	15.0	18.0	16.0	▲ 2.0
悪くなる	4.0	2.0	3.0	2.0	1.0	▲ 1.0



3. 地区別の動向

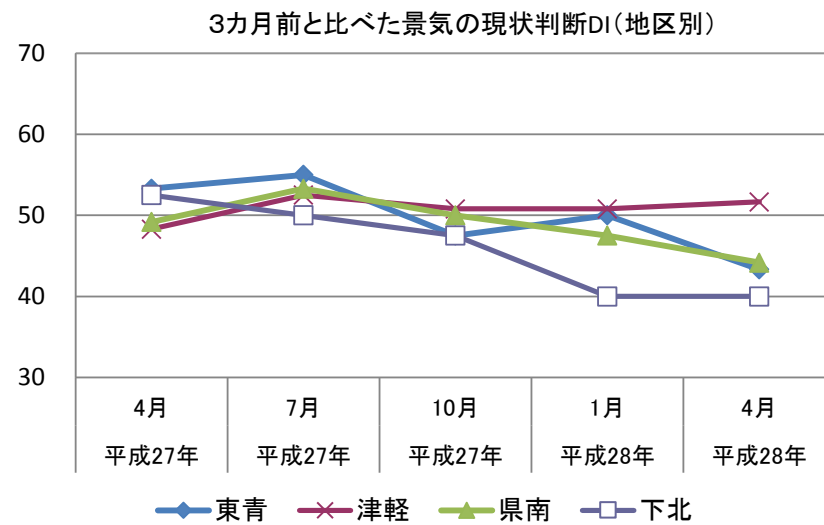
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

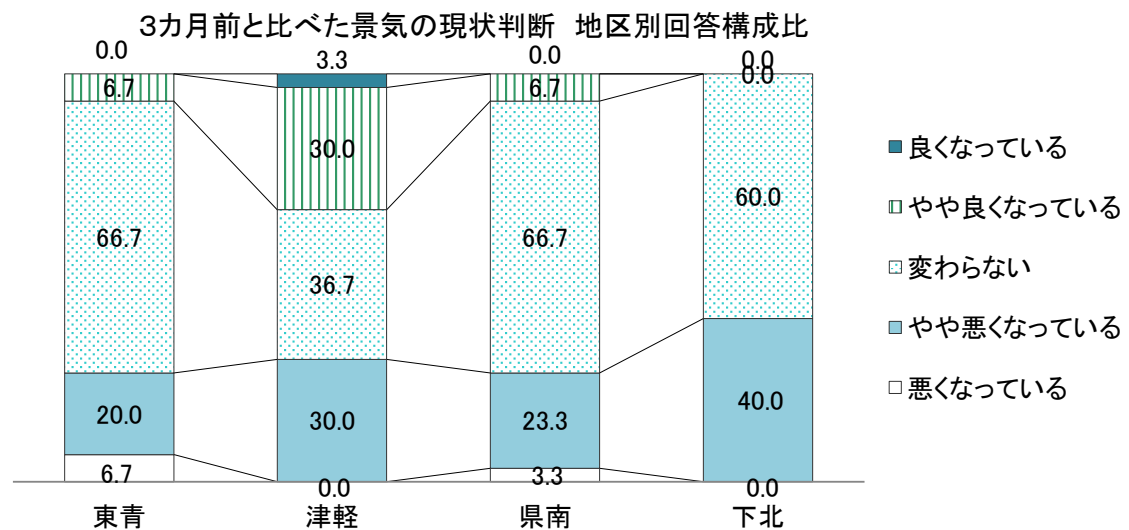
n = 100

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	50.5	53.3	49.3	48.5	45.8	▲ 2.7
東青	53.3	55.0	47.5	50.0	43.3	▲ 6.7
津軽	48.3	52.5	50.8	50.8	51.7	0.9
県南	49.2	53.3	50.0	47.5	44.2	▲ 3.3
下北	52.5	50.0	47.5	40.0	40.0	0.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	0.0	3.3	0.0	0.0
やや良くなっている	6.7	30.0	6.7	0.0
変わらない	66.7	36.7	66.7	60.0
やや悪くなっている	20.0	30.0	23.3	40.0
悪くなっている	6.7	0.0	3.3	0.0

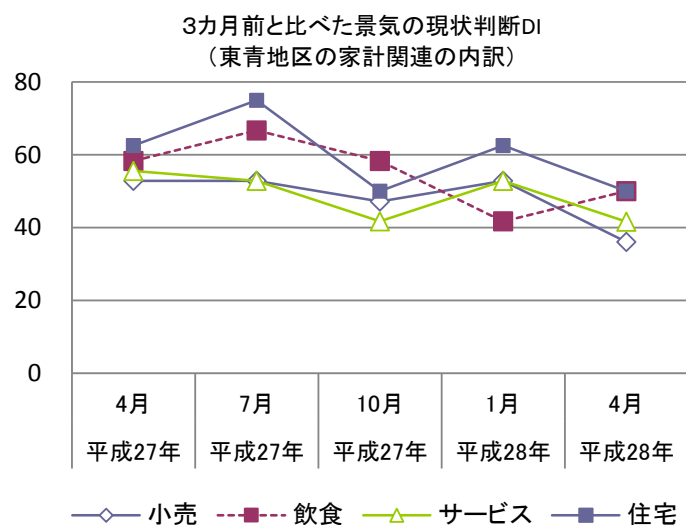
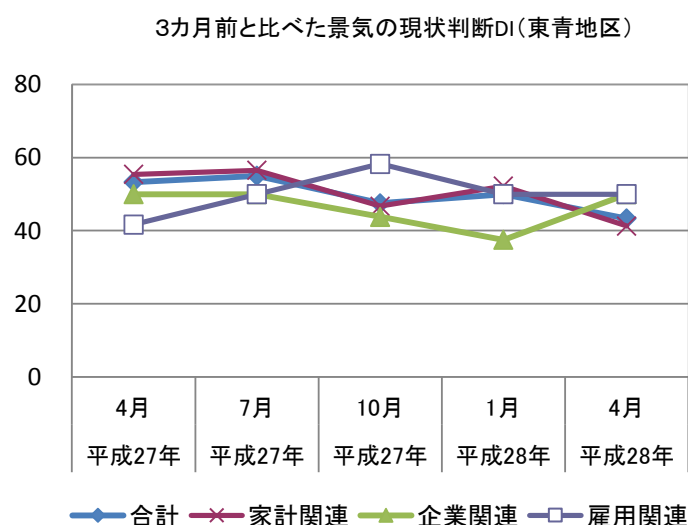


<東青地区>

①DI

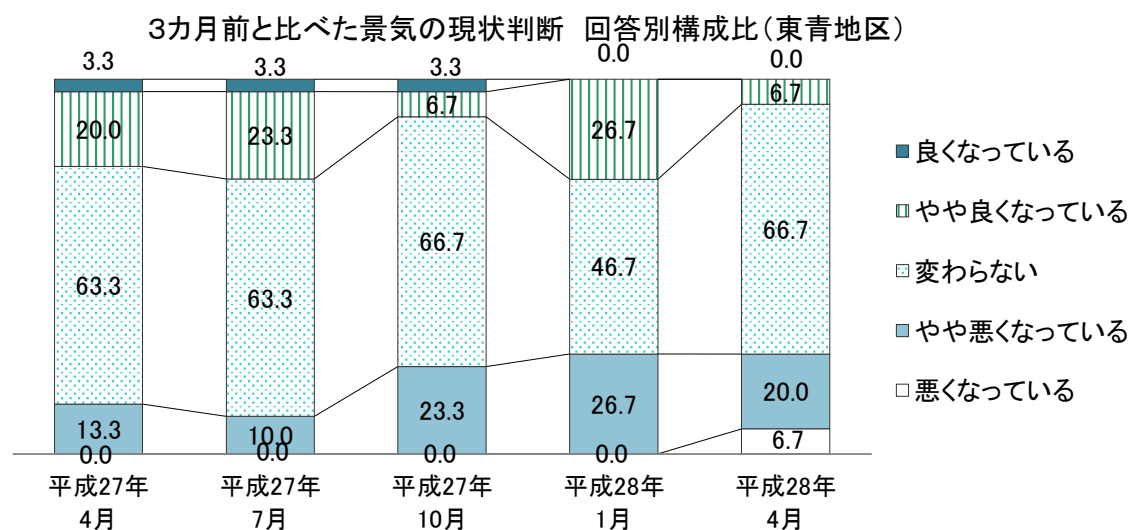
n = 30

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	53.3	55.0	47.5	50.0	43.3	▲ 6.7
家計関連	55.4	56.5	46.7	52.2	41.3	▲ 10.9
小売	52.8	52.8	47.2	52.8	36.1	▲ 16.7
飲食	58.3	66.7	58.3	41.7	50.0	8.3
サービス	55.6	52.8	41.7	52.8	41.7	▲ 11.1
住宅	62.5	75.0	50.0	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	50.0	50.0	43.8	37.5	50.0	12.5
雇用関連	41.7	50.0	58.3	50.0	50.0	0.0



②回答別構成比 (%)

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	23.3	6.7	26.7	6.7	▲ 20.0
変わらない	63.3	63.3	66.7	46.7	66.7	20.0
やや悪くなっている	13.3	10.0	23.3	26.7	20.0	▲ 6.7
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7



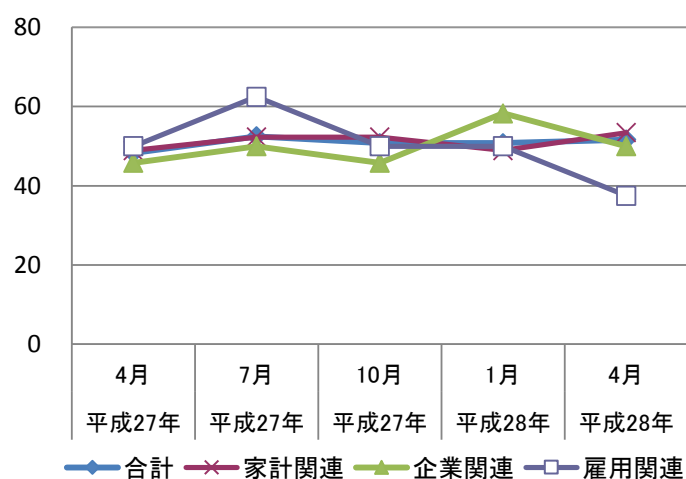
< 津軽地区 >

① D I

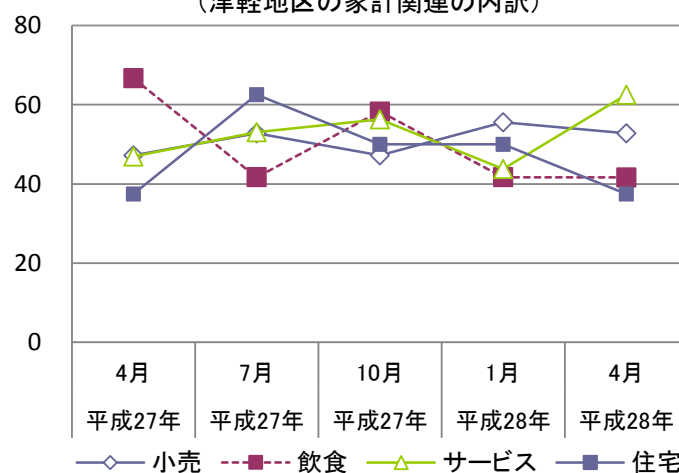
n = 30

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	48.3	52.5	50.8	50.8	51.7	0.9
家計関連	48.9	52.3	52.3	48.9	53.4	4.5
小売	47.2	52.8	47.2	55.6	52.8	▲ 2.8
飲食	66.7	41.7	58.3	41.7	41.7	0.0
サービス	46.9	53.1	56.3	43.8	62.5	18.7
住宅	37.5	62.5	50.0	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	45.8	50.0	45.8	58.3	50.0	▲ 8.3
雇用関連	50.0	62.5	50.0	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



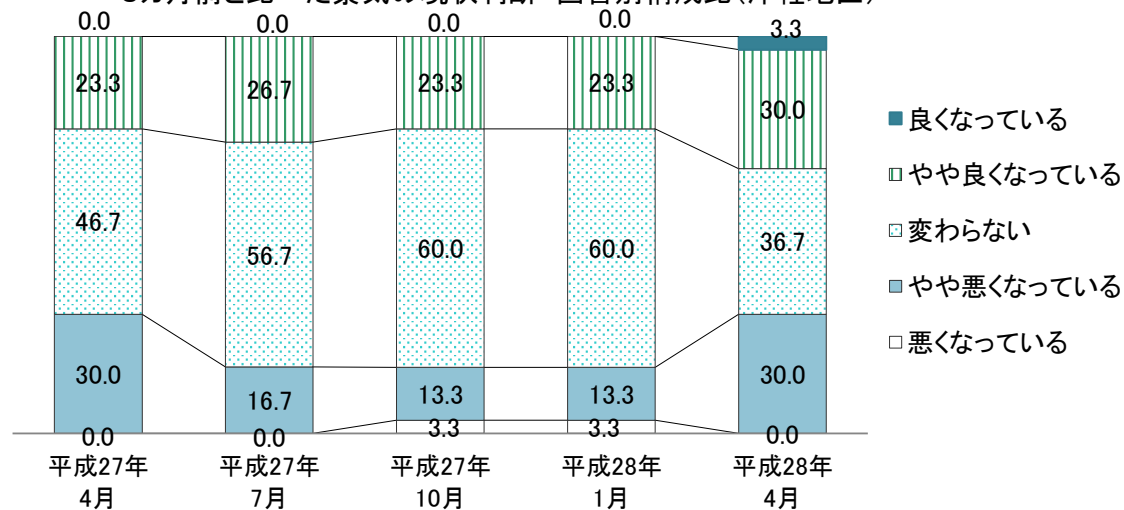
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	23.3	26.7	23.3	23.3	30.0	6.7
変わらない	46.7	56.7	60.0	60.0	36.7	▲ 23.3
やや悪くなっている	30.0	16.7	13.3	13.3	30.0	16.7
悪くなっている	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	▲ 3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)



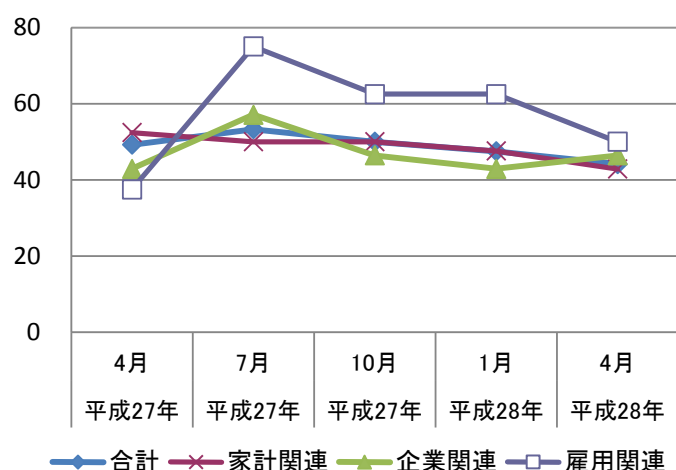
< 県南地区 >

① D I

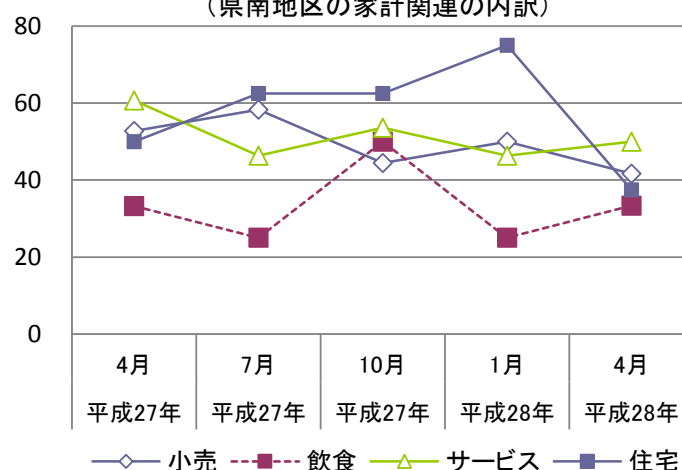
n = 30

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	49.2	53.3	50.0	47.5	44.2	▲ 3.3
家計関連	52.4	50.0	50.0	47.6	42.9	▲ 4.7
小売	52.8	58.3	44.4	50.0	41.7	▲ 8.3
飲食	33.3	25.0	50.0	25.0	33.3	8.3
サービス	60.7	46.4	53.6	46.4	50.0	3.6
住宅	50.0	62.5	62.5	75.0	37.5	▲ 37.5
企業関連	42.9	57.1	46.4	42.9	46.4	3.5
雇用関連	37.5	75.0	62.5	62.5	50.0	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI（県南地区）



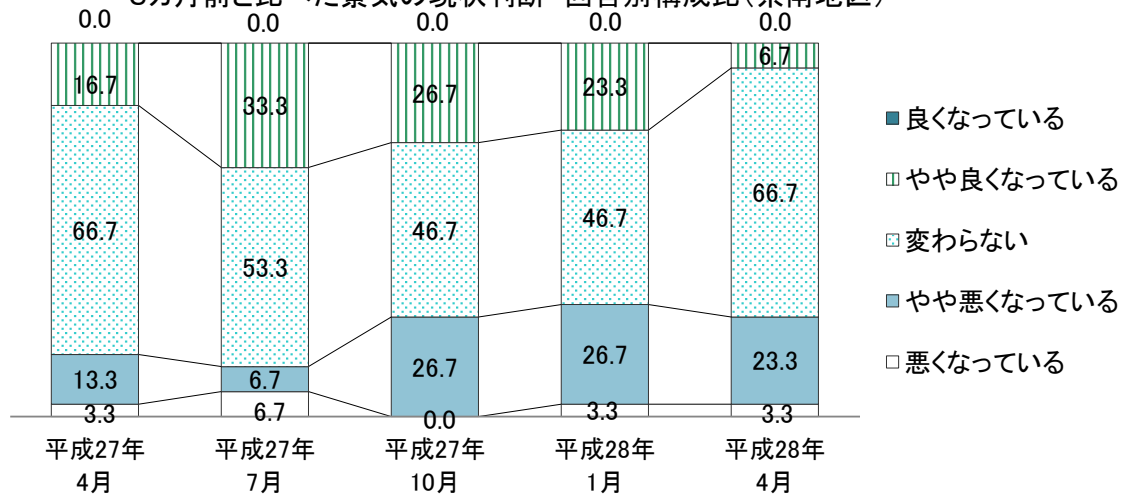
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
（県南地区の家計関連の内訳）



② 回答別構成比（％）

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	16.7	33.3	26.7	23.3	6.7	▲ 16.6
変わらない	66.7	53.3	46.7	46.7	66.7	20.0
やや悪くなっている	13.3	6.7	26.7	26.7	23.3	▲ 3.4
悪くなっている	3.3	6.7	0.0	3.3	3.3	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比（県南地区）

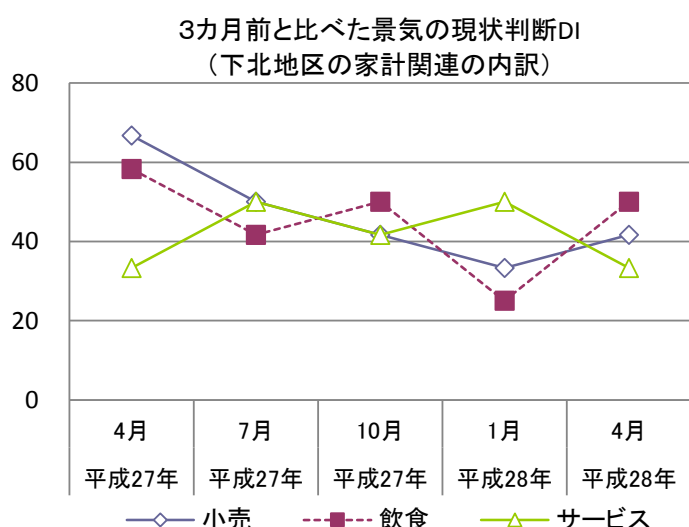
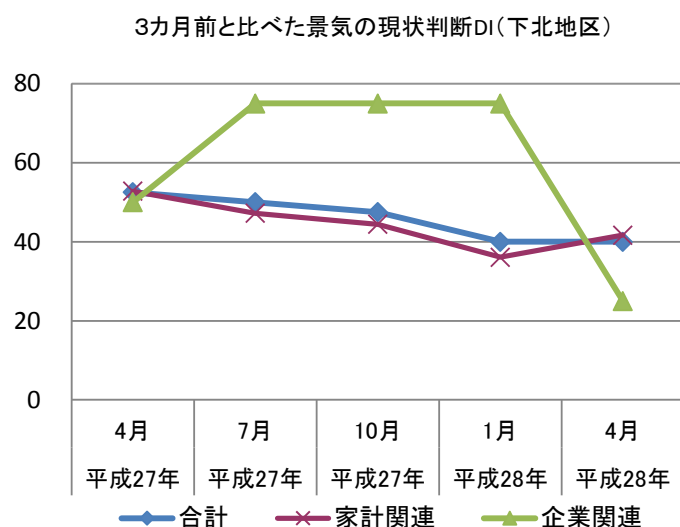


<下北地区>（参考）

①DI

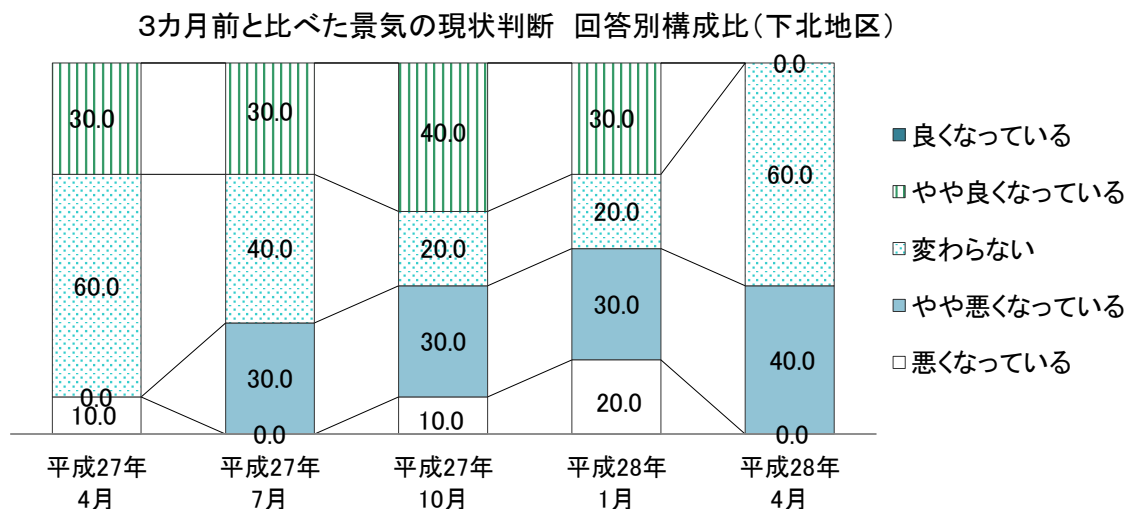
n = 10

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	52.5	50.0	47.5	40.0	40.0	0.0
家計関連	52.8	47.2	44.4	36.1	41.7	5.6
小売	66.7	50.0	41.7	33.3	41.7	8.4
飲食	58.3	41.7	50.0	25.0	50.0	25.0
サービス	33.3	50.0	41.7	50.0	33.3	▲ 16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	75.0	75.0	75.0	25.0	▲ 50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比（％）

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	30.0	30.0	40.0	30.0	0.0	▲ 30.0
変わらない	60.0	40.0	20.0	20.0	60.0	40.0
やや悪くなっている	0.0	30.0	30.0	30.0	40.0	10.0
悪くなっている	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0	▲ 20.0



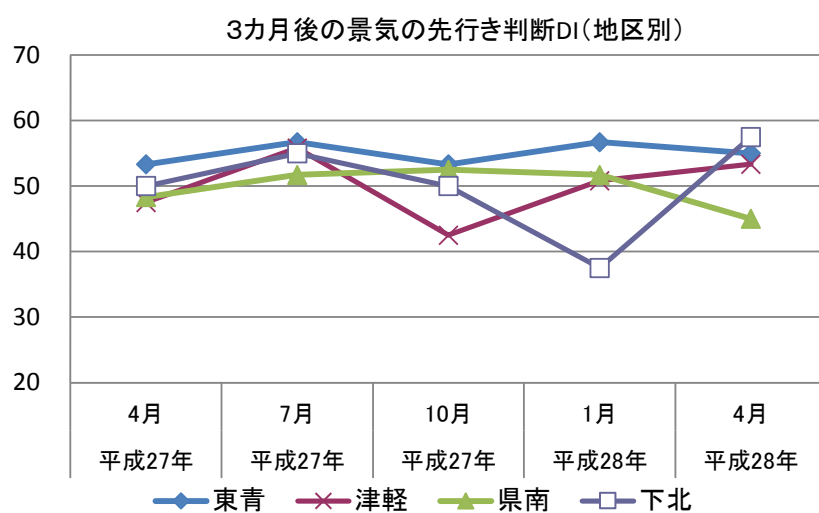
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

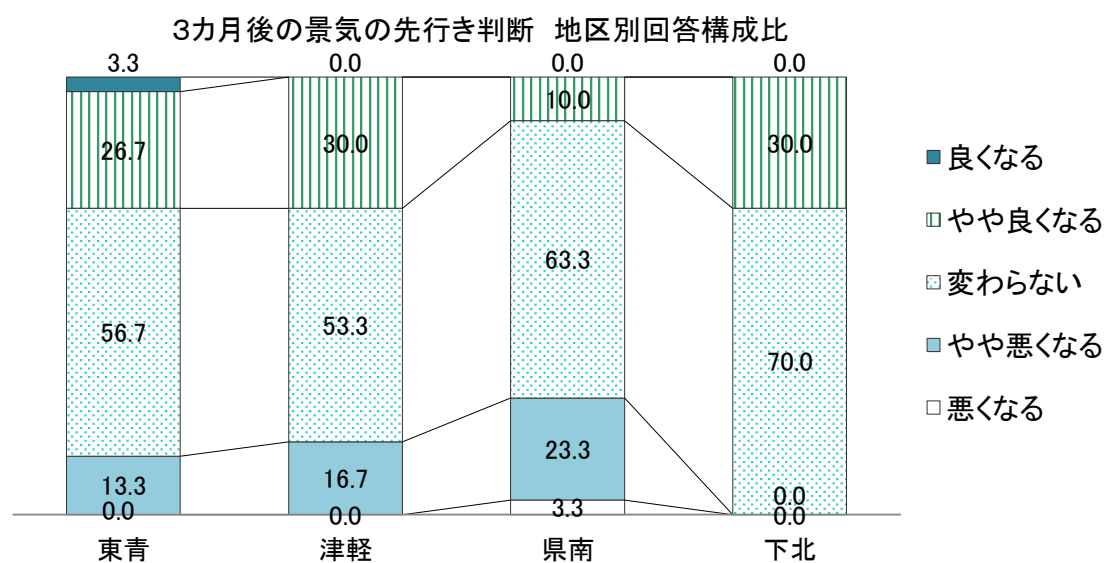
n = 100

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	49.8	54.8	49.5	51.5	51.8	0.3
東青	53.3	56.7	53.3	56.7	55.0	▲ 1.7
津軽	47.5	55.8	42.5	50.8	53.3	2.5
県南	48.3	51.7	52.5	51.7	45.0	▲ 6.7
下北	50.0	55.0	50.0	37.5	57.5	20.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	26.7	30.0	10.0	30.0
変わらない	56.7	53.3	63.3	70.0
やや悪くなる	13.3	16.7	23.3	0.0
悪くなる	0.0	0.0	3.3	0.0



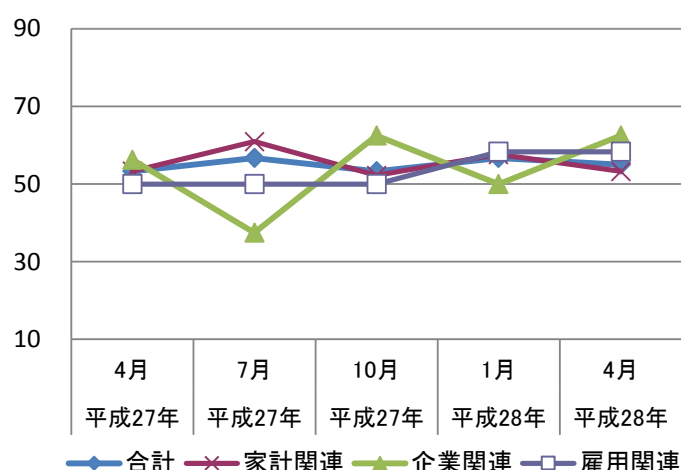
<東青地区>

①DI

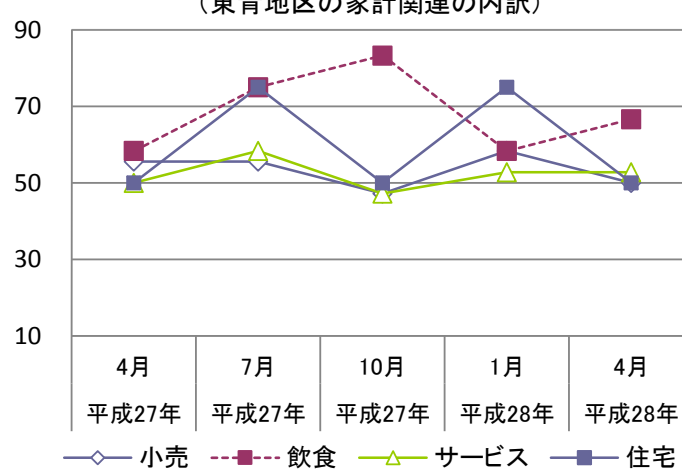
n = 30

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	53.3	56.7	53.3	56.7	55.0	▲ 1.7
家計関連	53.3	60.9	52.2	57.6	53.3	▲ 4.3
小売	55.6	55.6	47.2	58.3	50.0	▲ 8.3
飲食	58.3	75.0	83.3	58.3	66.7	8.4
サービス	50.0	58.3	47.2	52.8	52.8	0.0
住宅	50.0	75.0	50.0	75.0	50.0	▲ 25.0
企業関連	56.3	37.5	62.5	50.0	62.5	12.5
雇用関連	50.0	50.0	50.0	58.3	58.3	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



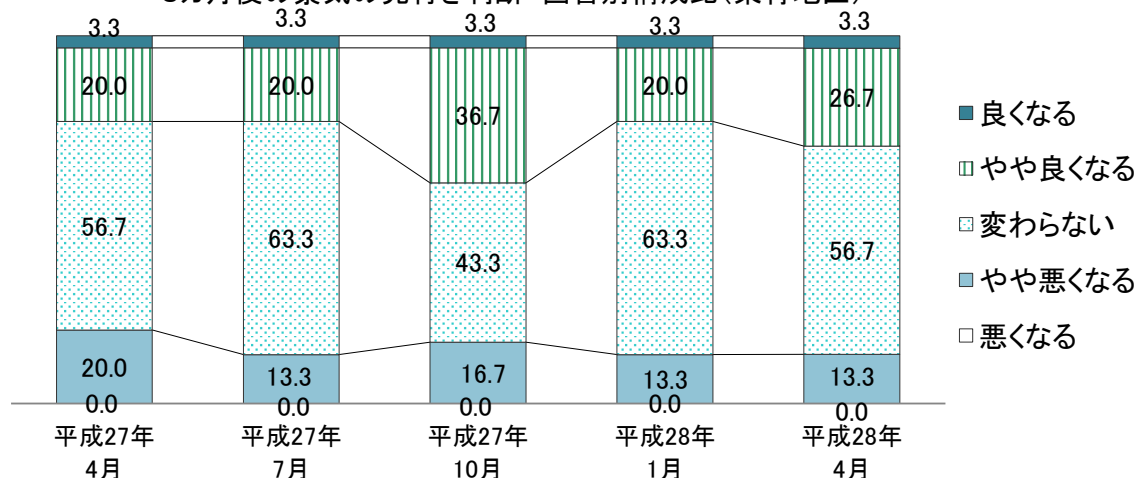
3カ月後の景気の先行き判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良くなる	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	36.7	20.0	26.7	6.7
変わらない	56.7	63.3	43.3	63.3	56.7	▲ 6.6
やや悪くなる	20.0	13.3	16.7	13.3	13.3	0.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)



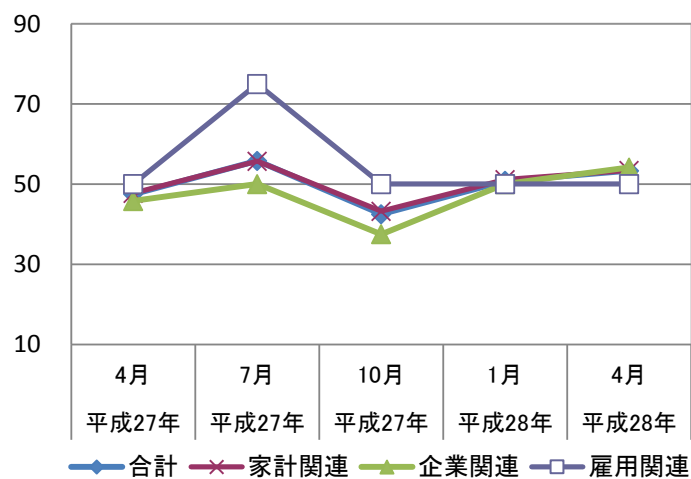
<津軽地区>

①DI

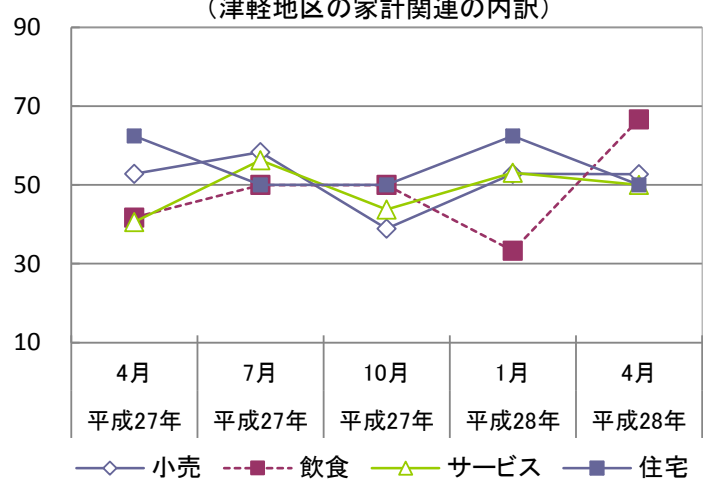
n = 30

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	47.5	55.8	42.5	50.8	53.3	2.5
家計関連	47.7	55.7	43.2	51.1	53.4	2.3
小売	52.8	58.3	38.9	52.8	52.8	0.0
飲食	41.7	50.0	50.0	33.3	66.7	33.4
サービス	40.6	56.3	43.8	53.1	50.0	▲ 3.1
住宅	62.5	50.0	50.0	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	45.8	50.0	37.5	50.0	54.2	4.2
雇用関連	50.0	75.0	50.0	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



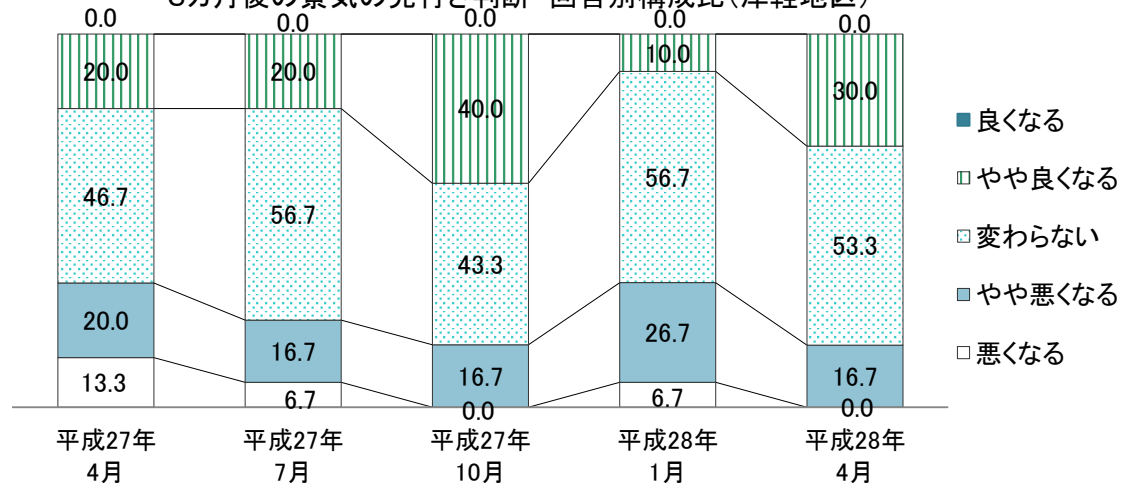
3カ月後の景気の先行き判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	40.0	10.0	30.0	20.0
変わらない	46.7	56.7	43.3	56.7	53.3	▲ 3.4
やや悪くなる	20.0	16.7	16.7	26.7	16.7	▲ 10.0
悪くなる	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	▲ 6.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)



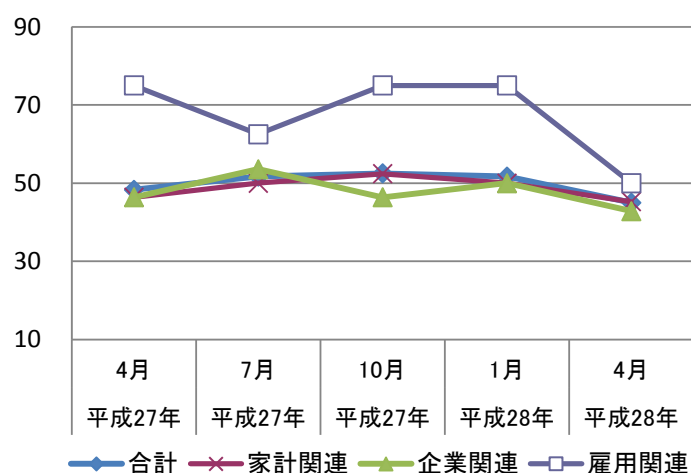
< 県南地区 >

① D I

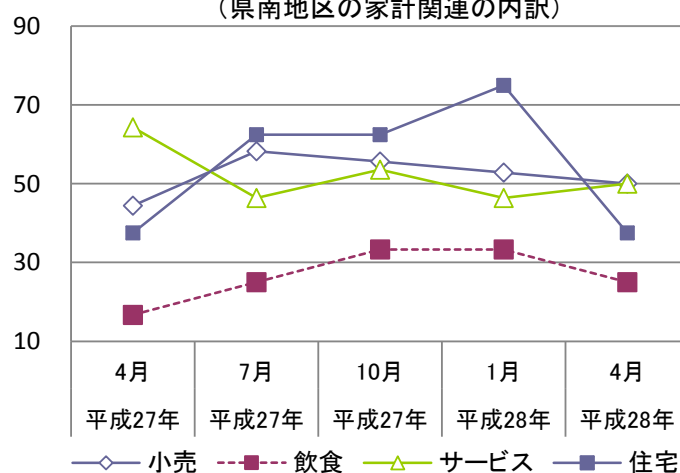
n = 30

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	48.3	51.7	52.5	51.7	45.0	▲ 6.7
家計関連	46.4	50.0	52.4	50.0	45.2	▲ 4.8
小売	44.4	58.3	55.6	52.8	50.0	▲ 2.8
飲食	16.7	25.0	33.3	33.3	25.0	▲ 8.3
サービス	64.3	46.4	53.6	46.4	50.0	3.6
住宅	37.5	62.5	62.5	75.0	37.5	▲ 37.5
企業関連	46.4	53.6	46.4	50.0	42.9	▲ 7.1
雇用関連	75.0	62.5	75.0	75.0	50.0	▲ 25.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



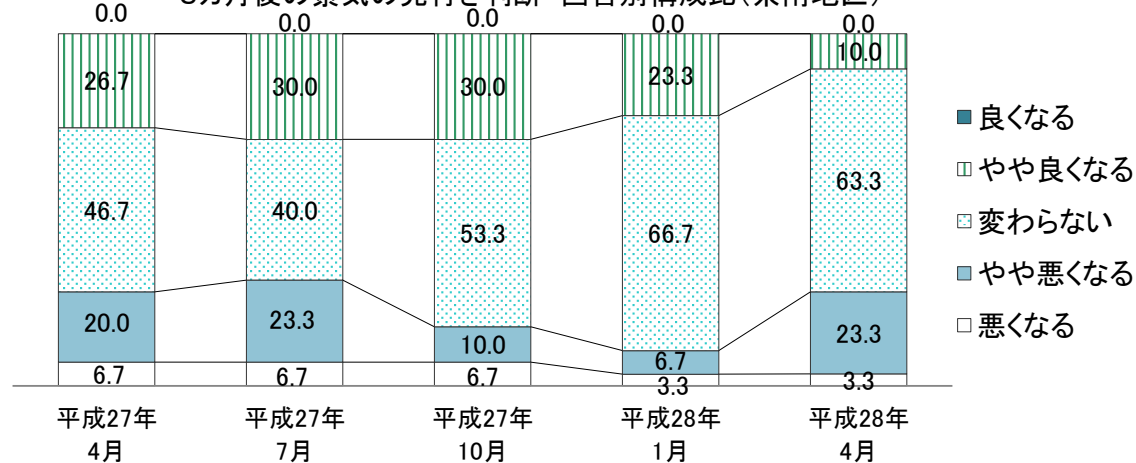
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	26.7	30.0	30.0	23.3	10.0	▲ 13.3
変わらない	46.7	40.0	53.3	66.7	63.3	▲ 3.4
やや悪くなる	20.0	23.3	10.0	6.7	23.3	16.6
悪くなる	6.7	6.7	6.7	3.3	3.3	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)



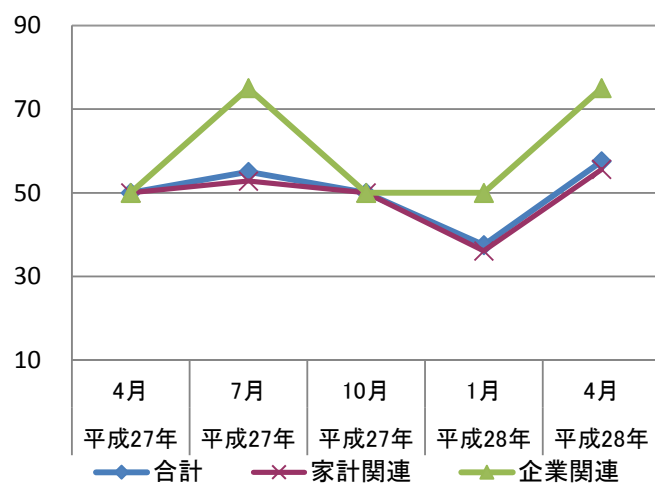
<下北地区> (参考)

①DI

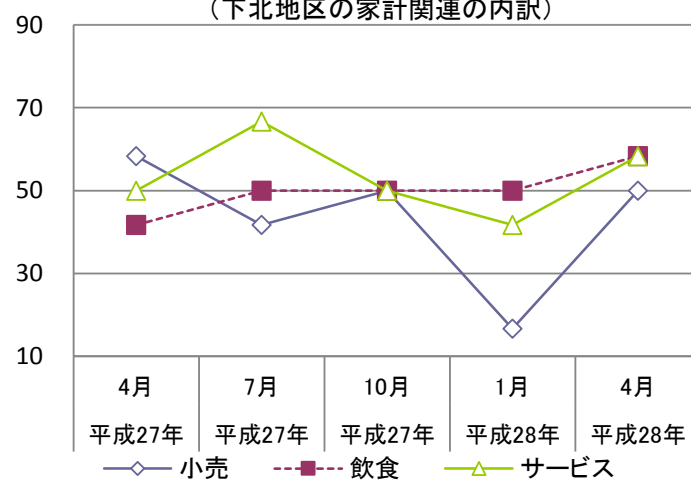
n = 10

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	50.0	55.0	50.0	37.5	57.5	20.0
家計関連	50.0	52.8	50.0	36.1	55.6	19.5
小売	58.3	41.7	50.0	16.7	50.0	33.3
飲食	41.7	50.0	50.0	50.0	58.3	8.3
サービス	50.0	66.7	50.0	41.7	58.3	16.6
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	75.0	50.0	50.0	75.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月後の景気の先行き判断DI(下北地区)



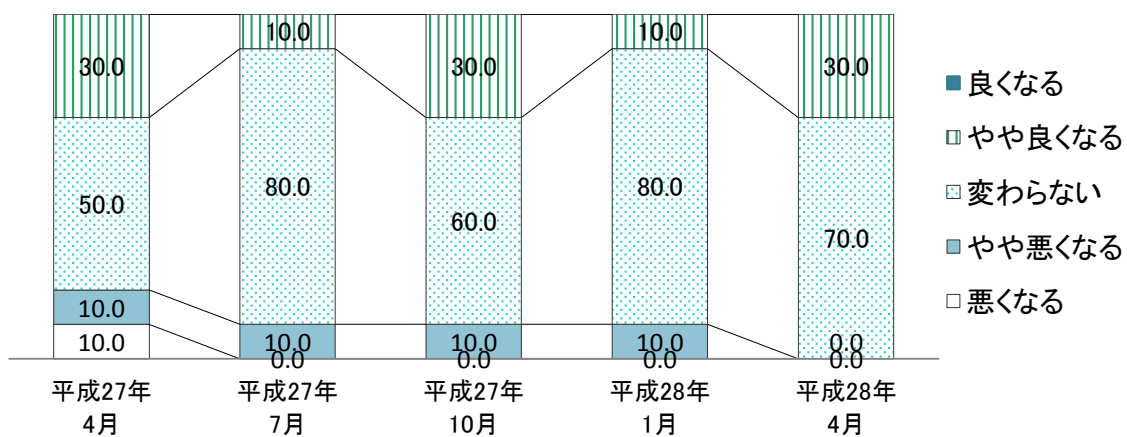
3カ月後の景気の先行き判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	10.0	30.0	10.0	30.0	20.0
変わらない	50.0	80.0	60.0	80.0	70.0	▲ 10.0
やや悪くなる	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	▲ 10.0
悪くなる	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	津軽	商店街	飲食店が好調。
やや良くなっている	家計	東青	一般飲食店	天候と社会情勢等が変化。
			レストラン	今は歓送迎会シーズンで忙しいが、これからどうか。
		津軽	旅行代理店	好天のせいもあり、デパート、ショッピングセンター等商店街の人の動きの良さが見受けられる。
			美容院	自治体でいろいろなイベントを打ち出してくれている。
			観光名所等	雪が少なかった。
			観光型ホテル・旅館	3カ月前はほとんど地元のお客様が多く、前年同月対比約5%売上減（12月、1月）でしたが、現在は例年並みの売上となっている。
			一般小売店	売上の前年比で考えてみて、やや良くなっているのです。
			スーパー	価格の安さだけでなく、品質や味を重視するお客様が増えてきた。
		県南	卸売業	北海道新幹線開通の特需効果なのか、旅行に行く話をする人が増えた。
	企業	津軽	食料品製造	雪も少なく春も早かったせいか春物商品が動いていると思う。
		津軽	経営コンサルタント	60歳定年後の再雇用制度もだいぶ定着してきている。事業所では求人を出してもなかなか応募が少なく（特に介護系）人集めに苦労している。失業者の数は減少しているように見受けられる。スーパー、駅ビルなどでも、ちょっとした贅沢品が売れているように感じる。中高年の特に女性が運動や趣味のカルチャーに積極的に参加している。
		県南	広告・デザイン	チラシ等の折り込み数が増えている。もちろん時期的なこともあるが、全国展開している企業に混じり、地元企業のチラシが増えているように感じられる。
変わらない	家計	東青	百貨店	衣料品、食品の売り上げより推測すると、変わらない。
			美容院	来店頻度が少し遅れがちになっているように思える。
			都市型ホテル	宴会関係の件数は昨年並みであるが、1件当たりの人数の減少があり、若干伸び悩んでいる。
			設計事務所	住宅着工が順調に推移しているのは消費税を意識してのこと。
			住宅建設販売	住宅の契約数はやや横ばいだが、1棟当たりの単価は下がってきており、全体的に何とも言えない。
			観光名所等	年度における第3四半期（10-12月）と冬期間となる第4四半期（1-3月）は入込数の単純な比較はできないので前年比でみると、第3四半期の入込数が前年比104%だったのに対し、第4四半期は同120%程度（概算）と好調であった。年度を通じて好調に推移しており、変わらないとした。主な要因は大人の休日倶楽部、大型客船、外国人の各入込があったもの。
			卸売業	商品の売れ行きが良くない。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	衣料専門店	売り上げは昨年同時期と変わらないようであるが、商品単価、客単価が上がり、来店客数が減っているという構図。
			スーパー	来店客数では前年並みであり、大きな変化は出ていない。
			ガソリンスタンド	人口減少は経済にとって致命的。
		津軽	都市型ホテル	受注量（お客様の流れ）に変化がない。
			乗用車販売	前年比を下回った実績で推移している。
			住宅建設販売	当社及び同業他社の契約件数を比べても前年とあまり変わらない。
			一般飲食店	春4月、今年も桜早咲きで準まつり体制に入りまして、去年と同じであれば5月の連休には葉桜になり、人出が少なく、キャンセル多く、売り上げにも影響する気がします。
			スナック	歓送迎会の時期なので、多少は期待していたのですが、今年は少なかったように感じます。
			ガソリンスタンド	暖冬の影響で冬物商戦が最悪だった。きっとゴールデンウィークも桜が。
		県南	旅行代理店	業種によって、景気について話すニュアンスが上向き、下向きと違うので。
			百貨店	食料品は比較的堅調も、大手アパレルの不振により春物衣料の販売は盛り上がり欠け、服飾雑貨、生活用品等でも高額品の動きが鈍いため。
			美容院	来店頻度が下がっていて、いつもより1カ月位ずれていそうです。購買力も意欲が下がっているようです。身の保全を考えているようです。
			設計事務所	TTPや消費税引き上げが決まるまで判らない。
			乗用車販売	平成29年4月に予定している消費税増税実施が確定すると、多少の駆け込みが期待できるが、現在の国内の経済状況を見ると、増税延期も十分考えられる。いずれにしても現在の状況に大きな変化はそれほど期待できない。
			観光名所等	入込数、売上共に大きな変動がないと思う。
			家電量販店	客数減が続き歯止めがかからない。
			一般飲食店	多少売り上げはアップしているが、状況から見るとたまたまそうなったように感じられる（天候の要因等）。まだまだ安定した経済状況とは言えない。消費税増税の件もあるし。周囲を持ても良い材料があるとは思えない。
			パチンコ	売り上げ、お客様の動向、あまり変化がない。ただ年々お客様1人あたりの利用金額は減少している。
			タクシー	人の動きがない。お客様と話していても、景気のいい話は聞こえてこない。
			スナック	大企業の好景気がマスコミで宣伝されすぎで、地方はちょっと良い時もあるが、物価上昇で苦しいのが現状ではないか。ちょっと期待していた年度末もその割静かであった。
			コンビニ	「残業代を稼げない」というお客様の声。
			ガソリンスタンド	当社における販売の状況から、特段の変化は感じられないため。
		下北	都市型ホテル	長期滞在の宿泊客を除けば、相変わらず低調なまま推移している。また歓送迎会も前年より減少している。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	下北	一般小売店	良くなる要因も特になし。経済は沈んだままです。
			一般飲食店	3月、4月は移動の時期なので少しの動きがありましたが、その後また同じ動きだと思いましたので。
			レストラン	ほぼ昨年と同じような感じであまり変わっていない。
			コンビニ	客数増えず。特に良くなったとは感じないです。
	企業	東青	食料品製造	上向きの方と下向きの方とそれぞれあるので、トータル的にみて変わらない。
			広告・デザイン	新幹線開業に伴う単発の業務はあったものの、現時点ではまた元に戻っている。
			建設	安定して停滞している。
			経営コンサルタント	家計部門においては暖冬により灯油、ガソリンが低価格に推移している。スーパー等での値上げが浸透してきているが売上げは底堅く推移している。一次産品（ホタテ、米、リンゴ、野菜等）の価格も堅調。
		津軽	広告・デザイン	受注件数及び受注額等に増減がなく、やや悪い状態で推移している。
		県南	電気機械製造	中国、ヨーロッパからの引き合いが増えている。国内は横ばいでやや低調。部品調達先も大きな変化なく、先行き不安はあるものの順調との話が多い。
			紙・パルプ製造	円高、株安等不安定要素変わらず。
			経営コンサルタント	ここ数年続いていることだが、クライアントの中に勝ち組、負け組がはっきり区分されたように見える。そして負け組には、なかなかセカンドチャンスが見えてこないで、その格差は広がるばかりに感ずる。
			飲料品製造	やはり消費に抑えめの雰囲気あり。季節商材の動きが鈍い。
	雇用	東青	人材派遣	人材の確保に苦戦している。賃金等の改善をしたくても、その原資、売上まで確保できず、現状維持がやっとの企業が多い状況。派遣の問い合わせも増えているが、賃金が低水準で人材紹介に至らないケースが目立つようになった。
			新聞社求人広告	大きな変動なし。
		津軽	新聞社求人広告	物価の上昇（塩、原材料などの値上がり）が影響しなければいいが、現状はそんなに変わらない。
		県南	新聞社求人広告	売上に明るい材料が見当たらない。
やや悪くなっている	家計	東青	旅行代理店	ツアー参加人数及び旅行者の全体数が減少している様子がある。
			商店街	昨年度は大型商業施設並びに中堅・小規模店が、軒並み売り上げ不振に陥っており、景気の上向きを感じられません。また、最近では入進学・新社会人に関連する需要が、ほとんど無くなったように感じます。
			競輪場	売上が落ちている。
			家電量販店	暖冬のため冬季商品が不振。
			タクシー	今現在、雪が消えて暖かくなってきたせいなのか、日中でも車の量も少ないですし、街に人がいない状況が続いています。3カ月前と比べて景気はやや悪くなっているとお客様たちも言っていました。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	津軽	百貨店	食料品の買上げ動向はよりシビアになっていると思われる。買上げ点数、単価のダウン傾向あり。生活防衛の意識が見られるように感じる。
			設計事務所	年度末の忙しさから解放された時期で、まずは一休みの段階です。官公庁発注の業務も昨年度で出尽くした感があります。
			衣料専門店	地方で給料のアップ少ない。株の下落により消費の意欲が落ちている。
			レストラン	1～2月の客数が減っている。
			パチンコ	雪が少なかったので冬場の消費が少し良かった。反動と思われる。
			コンビニ	同じ業界の青森県参入で売上が下がっています。売上、客数ともに減少している。
		県南	商店街	ガソリン、灯油等の価格が上がってきている。
			住宅建設販売	消費税増税の話が延期になりそうなため。景気が低迷しつつあるから。駆け込み購入のような起爆剤にならないため。
			一般小売店	中国のインフレ傾向の影響で全ての生産物が値上げ気味なのに、日本の中小企業の賃金はほとんど上がっていない。
			衣料専門店	ポイント2倍又は感謝デーの5%引きのように特典のある時は以前ですとある程度数字がとれていましたが、最近は平日との売上の差があまりなく厳しい状況が続いています。
			スーパー	年明けからお買物の内容が安価な商品になった。
		下北	スーパー	お客様の買い上げが2点のところを1点など減った。また無駄な必要のないものは買わない。
			ガソリンスタンド	公共事業が少なく、被災地の方へ出稼ぐ人が多くなっているように感じる。
	企業	津軽	電気機械製造	スマートフォン部品の需要が鈍いため。
		県南	食料品製造	動燃費を除く原材料全般の高値が継続していることで、加工食品全体が値上げを実施しているが、可処分所得が増えていない状況で景気は悪くなっていると感じるから。
			建設	少子高齢化の影響なのか全産業において活気が感じられない。住宅新築もほとんど見かけなくなってきたし、飲食関係も流行っている感じを受けない。
		下北	食料品製造	消費税10%移行予定1年前、人手不足等、消費動向が控え目。
	雇用	津軽	人材派遣	デフレから抜け出そうという努力の最中、ここ最近、大手牛丼チェーン等のファーストフード店が低料金の商品をメニューに増やしているのが気になる。安い商品でないと売れないということでしょうか。
悪くなっている	家計	東青	スナック	毎日多少なりと期待して頑張っていますが、景気が悪く見当が付きません。考えられないほどお客様が少ないです。
		県南	レストラン	業者さん（周りの関係者の方々）は、注文が少なくなってきた、昨年度より落ちている、と話をしていました。平日、飲みに出るお客様も少なくなってきた。飲食店も昨年度より売り上げが落ちないように四苦八苦しています。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	今年は六魂祭などのイベントが多いので。
やや良くなる	家計	東青	家電量販店	園芸関係、農業資材が好調に推移。
			卸売業	良くなってももらわないと困るため期待を込めて。
			タクシー	今現在よりイベントの時期ですし、青森県、青森市でも色々なイベントを企画していますので、その経済効果は上がると思います。
			コンビニ	季節変動による。
		津軽	レストラン	桜が早く咲くので長い期間、花見で人が動くのではないかな。
			一般飲食店	去年、弘前城の曳家がありまして、全国からお客様が来られて、お城が動いたため。弘前城と岩木山が両方見られて、今年観光客も多いと思います。これも売り上げにも景気の良さにもつながればと思います。
			一般小売店	購買力のある人は、相変わらず消費に回す金額が高い。
		県南	美容院	消費税や選挙を控えて、少し安心できそうな材料が出てきそうと思う。卒業、入学、新生活も一段落して、日常に戻ることで買い物も増えると思う。
			卸売業	参議院選挙に向けて景気刺激策が出てくると思うが、夏以降は消費税10%移行がどうなるのかで変わってくると思う。
			タクシー	少しでも良くなることを期待したい。ただし、参議院議員選挙があるので、どのような影響があるのか。
		下北	レストラン	北海道新幹線で観光客が増えるのに期待。
	企業	東青	広告・デザイン	六魂祭や青森県・函館DCなど集客力のあるイベント、キャンペーンによる経済効果。
			食料品製造	花見や大型連休に向けて人の流れがありそうだ。
		津軽	電気機械製造	新機種発売に向けて需要が増えてくるため。
		下北	食料品製造	恐らく消費税10%がなくなるとの予測から。
		雇用	東青 新聞社求人広告	希望的観測。
			津軽 新聞社求人広告	北海道新幹線開業による観光面の期待、誘客効果があるはずなので。
変わらない	家計	東青	住宅建設販売	消費税増税も先送りの状況ですし、何も起爆剤がないため。
			競輪場	新規のお客様が少ない。
			スナック	お花見、観光シーズン、ねぶた祭りと期待できるか不安です。新幹線開通の影響はいかななものか。私たち飲食業（スナック）の仲間たちは悩んでおります。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	都市型ホテル	宿泊予約は伸びているものの、婚礼・宴会関係の動きが悪く、全体的には横ばいである。
			設計事務所	土木関連事業は出足が悪い。この先発注がどこまで伸びるか。
			観光名所等	年度における第3四半期（10-12月）と冬期間となる第4四半期（1-3月）は入込数の単純な比較はできないので前年比でみると、第3四半期の入込数が前年比104%だったのに対し、第4四半期は同120%程度（概算）と好調であった。年度を通じて好調に推移しており、変わらないとした。主な要因は大人の休日倶楽部、大型客船、外国人の各入込があったもの。
			百貨店	プラス要素は見あたらない。
			レストラン	まったく分からない。
			美容院	商品の購入に対して慎重になっているように感じる。
			商店街	売上が上向くような材料がなく、停滞しているように感じます。
		津軽	乗用車販売	特に好機に転ずる要素は感じられない。
			設計事務所	来春、消費税の増税が予想されるため、駆け込みで受注が増加することが予想されます。
			住宅建設販売	消費税増税の時期が延長になると思っている人が多いので、駆け込み需要が期待できない。
			スナック	GWや弘前公園の桜まつりがあるので、一時的には良くなりますが、その後は特に変わらないと思います。
			スーパー	元々アベノミクスの効果がそれほど見られなかったもので。現状の株価が下がったり、円高等騒がれてはいても、地方の景気にはそれほど影響がないと思うので。
			衣料専門店	景気の上昇が見込めない。
			百貨店	北海道新幹線による反響は期待するものの、まだ先が不透明に思える。
			旅行代理店	農作業の多忙と、国内外の景気の動向がどうなるか。
			観光型ホテル・旅館	売上増となる要因がないから。
			都市型ホテル	受注量（お客様の流れ）に変化がない。
		県南	商店街	好転する材料が見当たらない。
			家電量販店	来年4月の消費税増税の動き次第。
			パチンコ	3カ月ではあまり変化はない。
			一般小売店	これまでの流れでは消費税の増税は先送りになりそうなので、経済様子見感が強くなる。
			設計事務所	国会議員の選挙が終わらないと判らない。
			スーパー	日々を節約し、行事や急な出費に備えている。税金等。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	コンビニ	ベースアップ等を期待できないみたいです。
			百貨店	地方は賃上げの波及効果も薄く、社会保障費の負担増による可処分所得の低下等の影響か、依然として購買行動が慎重となっていると思われるため。
			一般飲食店	やはり消費税10%がどうなるか、様子見でのユーザーではと思う。このような状況では消費も上昇しそうもないと感じられる。
			観光名所等	ガクンと落ちることはないと思うが、このままの状態が続くと思う。
			ガソリンスタンド	物価、賃金動向により、可処分所得に大きな変動はなく、大きく変化する状況は感じられないため。
		下北	都市型ホテル	これから観光シーズンに入ってくるが、前年より伸びる可能性は少ない。GWの結婚式も前年から減少している状況です。
			ガソリンスタンド	多少観光客が増えることに期待してはいるが。
			一般飲食店	7月、8月はお盆やお祭りの時期なのでいくらか良くなると思いますが、その日によって違うのではっきりとは言えないので。
			スーパー	下北自体の産業などが改善していない。今のままの産業構造では良くなる要素が少ない。
			コンビニ	良くなる見込みが全く感じられません。
やや悪くなる	企業	東青	経営コンサルタント	現状消費はやや堅調であるが、春の賃上げは期待できないので今後の消費は横ばいとする。
			広告・デザイン	見積もり依頼件数及び工事見込み件数等が増えていない。
			飲料品製造	取引先からの聞き取りでは変わらない。
		県南	電気機械製造	中国やアジアの経済情勢が大きく回復しそうにないため。引き合いは増加気味であるが、数年前の爆発的需要には程遠い。
			飲料品製造	地元の消費に停滞ムードが感じられる。ハレの日の消費は増える気がするが、その日以外は逆に減少。プラスマイナスでトントンか。
			広告・デザイン	やや良くなっているという程度のニュアンスで変わらないと思われる。しかしながら過度な期待はできない。
			経営コンサルタント	3カ月先は良くもなく、悪くもなく、このまま持ちこたえると思います。サミット後の消費税の増税判断により大きく動きます。駆け込み需要とその後の停滞。
		雇用	東青 人材派遣	人材確保については短期での改善は難しいと思われる。
			県南 新聞社求人広告	消費税増税に絡んだ状況が見えにくいので、特に変わらないのではないかと。
	家計	東青	衣料専門店	民主党政権時のような極端な景気の悪さは感じないが、実質賃金が上がり来客数が減っていることから、個人消費はジリジリと下降するのではと心配です。
			スーパー	値上げ商品についてはまとめ買い等の商品動向はない。但し、将来的には変化があると思われる。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	東青	旅行代理店	高齢者への福祉関係において金額等が値上がり、旅行控えの傾向になるのではないかと。また、会社員等のベースアップ幅に比べ日々の生活費の格差もあり、旅行形態にも影響が出てくると思われる。
			観光名所等	桜まつりが早咲きによる来場者減。大型観光バス、長距離バスの大幅減。消費税や海外の情勢不透明。
		津軽	ガソリンスタンド	日経平均株価の急落、特に金融株等は上がりにくいのでは。
			コンビニ	桜の開花が早く、観光に来られる方が減ると予想しています。後は、天候さえよくなれば。雨が多いと人が動きにくくなる。
		県南	住宅建設販売	消費税増税の話が延期になりそうのため。景気が低迷しつつあるから。駆け込み購入のような起爆剤にならないため。
			衣料専門店	消費税増税やいろいろな先行き不安材料があるためお客様方も慎重になっています。よほどの所得環境の改善がない限り景気が良くなるように思えません。
			観光型ホテル・旅館	増税が実施されるかどうかの不安による先行き不安感の影響は少なからずあると考える。
			旅行代理店	政治の安定性が不足している。東京へ集中しているのです。
			スナック	これから先も消費税が上がる話がある限り、回復の兆しは見えないような気がします。
		企業	食料品製造	景気が停滞している中で、来春の消費増税が1年以内に迫っており、更に悪化する懸念材料として顕在化してきたから。
			建設	企業や農家などの後継者問題、人材確保が非常に難しくなってきたおり、店を閉める割合が高くなると思われる。
悪くなる	家計	県南	レストラン	会社（職場）での飲み会が少なくなっているようです。予算も低額になっているので、客単価が下がってきています。今後はもっとお客様の数も減ると思います。

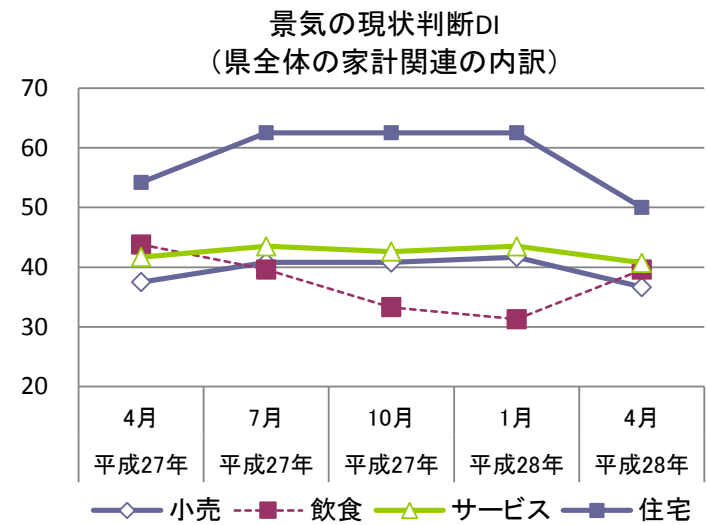
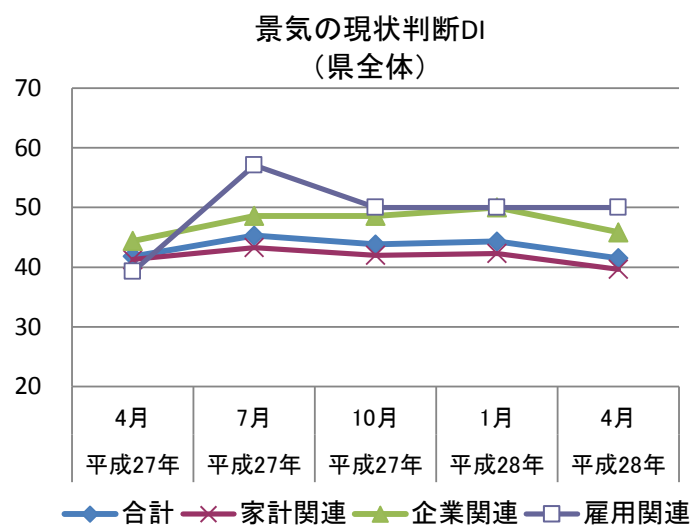
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

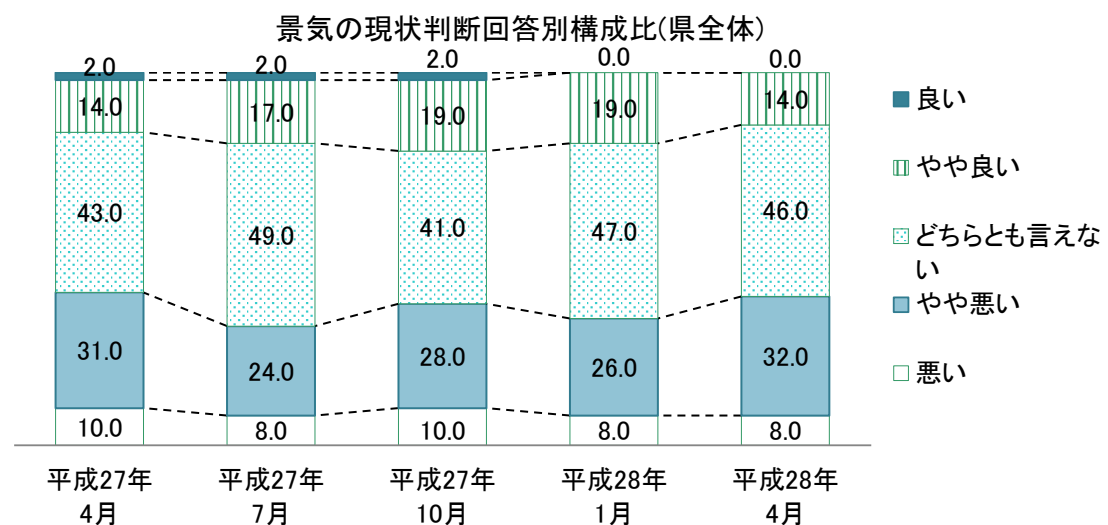
n = 100

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	41.8	45.3	43.8	44.3	41.5	▲ 2.8
家計関連	41.3	43.3	42.0	42.3	39.7	▲ 2.6
小売	37.5	40.8	40.8	41.7	36.7	▲ 5.0
飲食	43.8	39.6	33.3	31.3	39.6	8.3
サービス	41.7	43.5	42.6	43.5	40.7	▲ 2.8
住宅	54.2	62.5	62.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	44.4	48.6	48.6	50.0	45.8	▲ 4.2
雇用関連	39.3	57.1	50.0	50.0	50.0	0.0



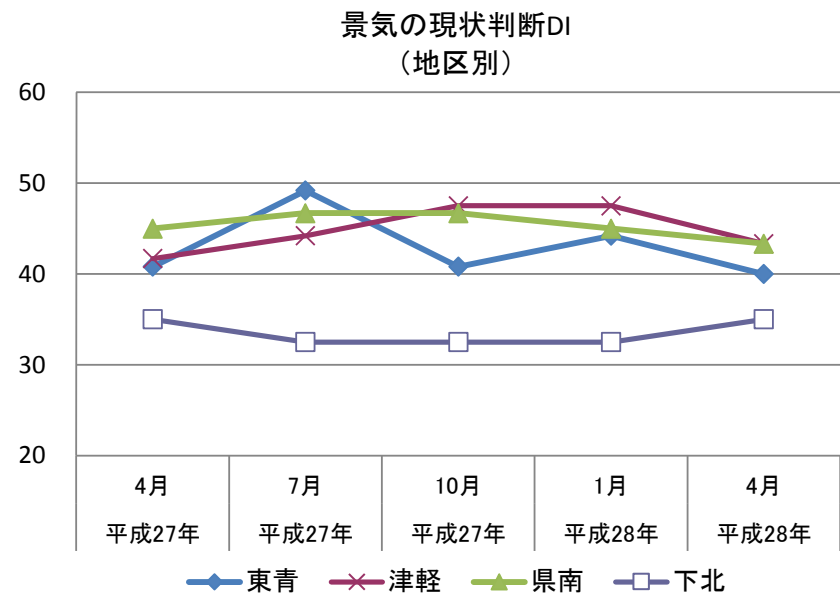
②回答別構成比 (%)

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
良い	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	14.0	17.0	19.0	19.0	14.0	▲ 5.0
どちらとも言えない	43.0	49.0	41.0	47.0	46.0	▲ 1.0
やや悪い	31.0	24.0	28.0	26.0	32.0	6.0
悪い	10.0	8.0	10.0	8.0	8.0	0.0



③地区別DI

	平成27年 4月	平成27年 7月	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	前期調査 との差
合 計	41.8	45.3	43.8	44.3	41.5	▲ 2.8
東青	40.8	49.2	40.8	44.2	40.0	▲ 4.2
津軽	41.7	44.2	47.5	47.5	43.3	▲ 4.2
県南	45.0	46.7	46.7	45.0	43.3	▲ 1.7
下北	35.0	32.5	32.5	32.5	35.0	2.5



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	北東北、道南は、国内はもとより世界が注目する陸路、鉄路、空路、海路のこれほどの移動インフラが整備され、日本海、太平洋、陸奥湾、津軽海峡、半島が三つ、国立公園、世界遺産、恐山、ねぶた、マグロ、ホタテなど、これほどの天然の観光資源を持った地域はないのではと皆が思っているが活かせないのはなぜででしょうか。市庁舎新設に多額の資源を投下しているようでは幸せは遠いかもしれません。
		商店街	中国人観光客の増加が見込まれることから、中国語版逸品紹介リーフレットを作成しました。中心市街地への誘客を図り、売上促進に寄与するものです。
		一般飲食店	県内外の活性化にみんなで力を合わせていきましょう。県民それぞれの力が大事ですね。みんな貯めずにお金使いましょう。
		レストラン	お客様に喜んでもらえるような料理、サービスを提供していきたいと思っています。
		観光型ホテル・旅館	新総合運動公園建設工事関連で、作業員の長期滞在目的で現在休業中の旅館の再オープン予定がある模様。
		タクシー	青森県、青森市の方々が経済効果を上げようと努力していることはすごく良いと思います。青森県民、青森市民も一人ひとり意識してもらいともっと良い効果が生まれると思います。
		美容院	商店街の人手や活気が年々下降しているように思える。
		住宅建設販売	住宅の建材、人件費は上昇中です。
	津軽	コンビニ	同じ業界が参入して今あるコンビニエンスストアに影響を与えているため。悪い方向に進まなければいいのだが。
		百貨店	少子化に伴う学生の減少がある。その中で学校制服の販売減もあるが、お下がりや使いまわしの頻度が高い。商品の耐久性も向上しているが、別のところに理由があると思う。全部ではないにしろ節約志向か。
		一般小売店	先日、同じ商店街内の美容院へ行った際に、12月～3月の売り上げが大変良いという話をしていた。美容院へ数日前に来ていた商店街内の喫茶店の店主も売り上げが良いという話をしていたそうである。
		一般飲食店	今年、保育所のことが問題になっていますが、仕事しないといけない本当に困っている人が多いと思います。どうかいい解決方向に行ってもらいたいと思います。
		観光名所等	外客対応の体制整備に努めている。
		旅行代理店	景気の格差が、個人、企業等で拡大しているのしているのではないか。
		パチンコ	地元経済の停滞感は強く感じます。
		ガソリンスタンド	人手不足の話ばかり。
		設計事務所	新幹線開業は本県にとって飛躍アップのチャンスです。しかしながら弘前市、青森市の両市の連携がイマイチな感じがします。
	県南	コンビニ	4月1日よりたばこの一部商品が値上がりしましたが、3月末の駆け込み需要は全くありませんでした。
		衣料専門店	複合ビルのガーデンテラスが8月のオープンに向け準備をしているようです。街全体に賑わいを取り戻せるのか期待したいところです。
		一般飲食店	今一番思うことは消費税10%になるかどうかです。中小が多いローカルでは、痛手になる。その所を調査を通して行政より強いアピールを望みます。
		観光型ホテル・旅館	宿泊顧客の傾向を見ると景気の良し悪しの差が出ており、格差が広がっていると感じる。

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	美容院	少子高齢化に伴い、幼児教育、進学奨励金や補助的な制度が充実し、各家庭に恩恵が届くようになれば、経済に大きく貢献すると思う。
	下北	コンビニ	下北にも人が流れてくるような大きなイベントなどがあればいいなと思います。
		スーパー	良いものは数が少ないものの売れるようになり、テレビで紹介された健康食品が以上に売れるようになった。
企業	東青	食料品製造	函館に行くのに面倒くさくなった。何より料金が高く、近くて遠くなったとぼやいております。かつては電子辞書をクラスの大半が持っていたのに、このところは少なくなっているようだ。スマホで間に合わせているとのこと。スマホ代がかかりすぎるでしょう。
		建設	来年の市長選挙の動向が今後の青森市の経済状況に重大な影響があるという意見が多く聞かれる。
	津軽	建設	北海道新幹線開業によって弘前は本当に良い影響が得られるのか不安。市長が一生懸命走り回っているので少しでも良い方向へ行ってもらいたい。
		広告・デザイン	北海道新幹線が開業し活気づいている様に思えるが、奥羽本線とのアクセスが依然として改善されていないと思う。観光地弘前でありながら新幹線とのアクセスが良くない。特急、快速を増やせないものか、JRに対し県としてももう少し強く要望してほしい。
	県南	電気機械製造	青森のコンサートホール（青森市文化会館、新県運動公園アリーナなど）は音が良い。秋田や岩手にはこんないいホールはなく、宮城をも若干上回る。自慢して良いし、音楽イベントをどんどん誘致できる。客もよく入る。青森の良いところだ。
	下北	食料品製造	むつ、下北地域の会合等に出席すると、必ず景気が落ち込んでいるとの文言が挨拶に出る。
雇用	津軽	新聞社求人広告	観光産業で例年になく期待が高まっている。